

5 大学協働によるシンポジウム報告

安全・安心な国土形成から元気な地方を!!

安全な"みち"のために

シンポジウムが開催平成27年2月27日(金)に名古屋市で開催されました。

長岡技術科学大学で実施した ME 新潟(構造)講座の修了生5名が、ワークショップでの意見発表・シンポジウムでの成果発表に参加いたしました。

【第1部 ワークショップ】

午前中に開催されたワークショップには、岐阜大学・長崎大学・愛媛大学・山口大学・長岡技術科学大学の5大学の ME・道守の受講生52名が参加し、3グループにより 熱い討議を行いました。

ME 新潟(構造)講座の修了生5名も次のテーマについて討議に参加しました。

第1テーマ 養成講座に応募した動機と社会資本の維持管理に関する現状認識と課題

星野 悦宏(見附市役所)

高橋 孝栄(新発田建設(株))

第2テーマ 養成講座に参加した感想や意見・要望

荒木 克 (太陽開発(株))

若月 和弥(北陸地域づくり協会)

第3テーマ 修了生として貢献したい場所、取組たい継続教育、目標とする技術者

本橋 謙治(新潟市役所)

各修了生から提出された多くの意見・要望を各大学の修了生が発表し、幹事校の岐阜大学 ME が発表 PPT に取りまとめるという2時間という短時間でしたが、中身の濃いワークショップでした。

【第2部 シンポジウム】

シンポジウムでは「道守・ME 養成講座 修了生による発表」としてワークショップ で討議した内容について、代表者3名がそれぞれのテーマについて発表を行いました。

第1テーマ 養成講座に応募した動機と社会資本の維持管理に関する現状認識と課題 の発表は ME 新潟の星野 悦宏さんが代表者として発表しました。

(詳細は以下の写真をご覧ください)



安全・安心な国土形成から元気な地方を！

安全な“みち”のために

社会資本の維持管理手法が問われるなか、点検・診断・補修技術を有する土木技術者が全国的に不足している。

シンポジウムでは、地域のニーズに応えられる技術者の育成について考える。

【プログラム】

〔来賓挨拶〕 文部科学省高等教育局専門教育課 課長補佐 小谷 直和 氏

〔事業説明〕 岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター 副センター長 沢田 和秀

〔話題提供〕 国土交通省中部地方整備局 道路部長 大庭 孝之 氏

〔修了者による発表〕 修了者代表

〔招待講演〕 株第一コンサルタンツ 代表取締役社長 右城 猛 氏（岐阜大学客員教授）

〔事業報告〕 長崎大学大学院工学研究科 准教授 森田 千尋 氏

〔ME活動報告〕 岐阜MEの会 会長 岡山 登志高 氏（大山土木株）

2015.2.27. **金** 13:00～（開場12:30）





写真-1 ワークショップ全景



写真-2 第1グループ討議 (星野さん・高橋さん)



写真-3 発表の取りまとめ状況



写真-4 第2グループ討議 (若月さん・荒木さん)



写真-5 第2グループ討議 (若月さん・荒木さん)



写真-6 発表の取りまとめ状況



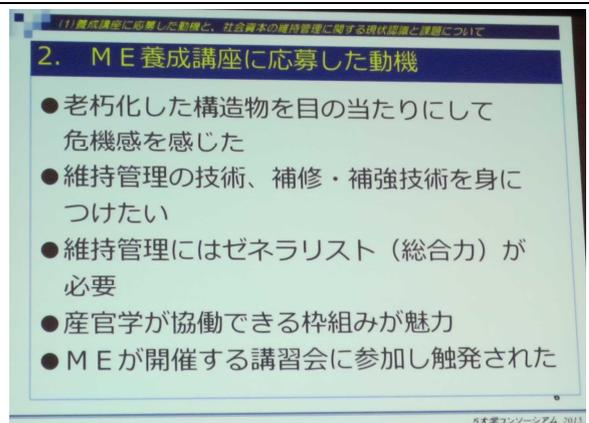
写真-7 第3グループ討議（本橋さん）



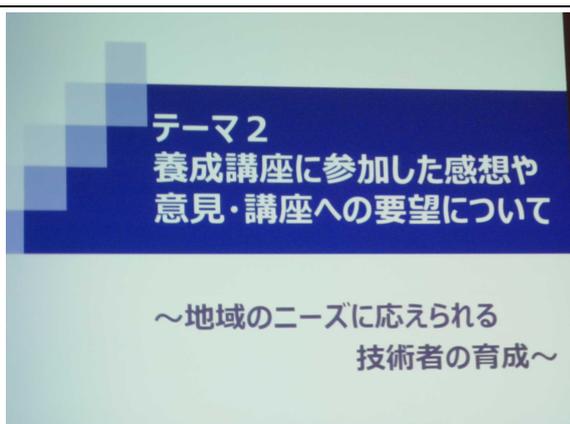
写真-8 取りまとめ状況



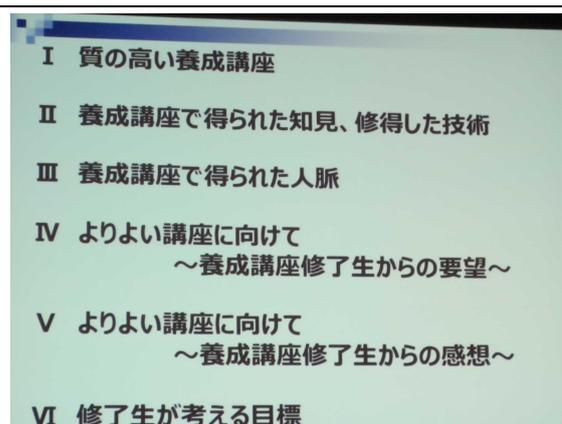
第1テーマ「養成講座に応募した動機と社会資本の維持管理に関する現状認識と課題」
グループのまとめ(1)



第1テーマ「養成講座に応募した動機と社会資本の維持管理に関する現状認識と課題」
グループのまとめ(2)



第2テーマ
「養成講座に参加した感想や意見・要望」
グループのまとめ(1)



第2テーマ
「養成講座に参加した感想や意見・要望」
グループのまとめ(2)

I 質の高い養成講座

- 著名な講師陣における講義
- 短期集中型カリキュラム
- 立場や業種の垣根を取り払った受講体制
- 実践を想定したフィールドワークや演習
- グループワークによるディスカッション
- 維持管理分野全般の講義
- 新技術を活用した実習



第2テーマ

「養成講座に参加した感想や意見・要望」
グループのまとめ(3)

II 養成講座で得られた知見、修得した技術

- メンテナンスに対する緊急性を強く感じた
- 幅広い視点からの洞察力
- 点検、診断するための技術力、損傷箇所を見つける観察力の必要性
- 技術力を磨く必要性
- 学ぶことの大切さの再認識
- メンテナンスに関する高い専門知識の修得
- 官民の共通した認識、視点の気づき
- 日常生活でも法面や道路施設の変状も気にするようになった

第2テーマ

「養成講座に参加した感想や意見・要望」
グループのまとめ(4)

III 養成講座で得られた人脈

- 産官学の垣根なきネットワークの形成
- 人との繋がりによる問題解決の糸口
- 講座を通じた同期の繋がり
- MEの会による同期の枠を超えた繋がり
- 修了生が企画する様々な分野のフォローアップ研修
- ネットワークを活用した情報交換

第2テーマ

「養成講座に参加した感想や意見・要望」
グループのまとめ(5)

IV よりよい講座に向けて

～養成講座修了生からの要望～

- 講座開催は、繁忙期を避けた夏～秋が望ましい
- 講座は20日程度の連続が望ましい
- 講義の最後に、振り返りなどディスカッションの時間を設けてほしい
- フィールド実習や工事現場見学をより多く取り入れて欲しい
- 地域ニーズに合わせた講義を積極的に取り入れて欲しい
- 社会情勢や時代の流れに応じて改変して欲しい

第2テーマ

「養成講座に参加した感想や意見・要望」
グループのまとめ(6)

VI 修了生が考える目標

- 官民の垣根を超えたネットワークを活用し、地域インフラの整備に取り組みたい
- 五感で診ることのできる技術者に成長したい
- 職場や後進のために情報発信を図る
- 社会活動・貢献に役立てていきたい



第2テーマ

「養成講座に参加した感想や意見・要望」
グループのまとめ(7)

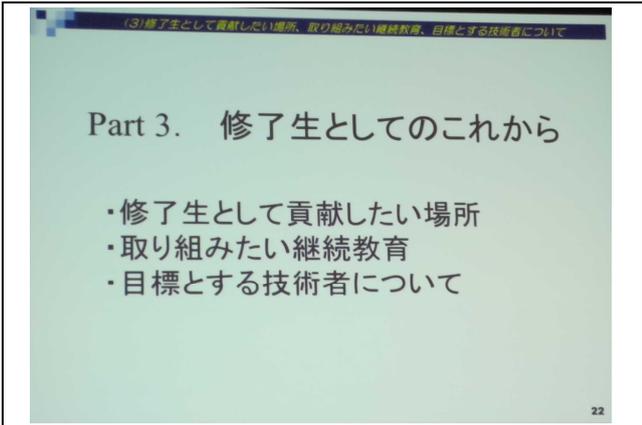
テーマ② まとめ

社会基盤は多様な利害関係者が関わる地域住民の財産であり、その課題解決は個人や1主体の取組では限界がある。

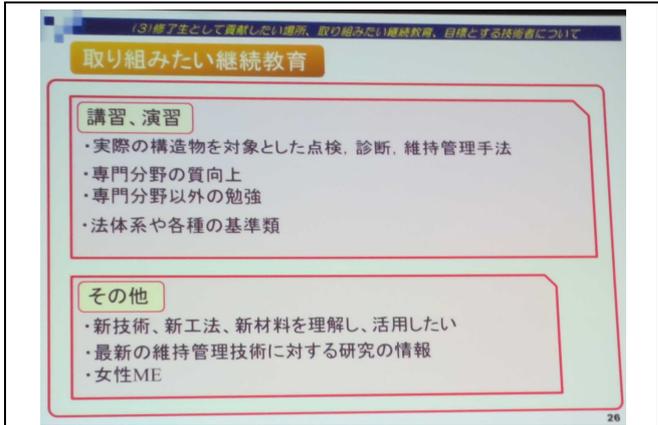
皆で協力して知恵を出し合い、課題解決に向かう、地域に根付く社会基盤の町医者“ME”とそのネットワークが社会に信頼されるために、MEとして成長していきたい。

第2テーマ

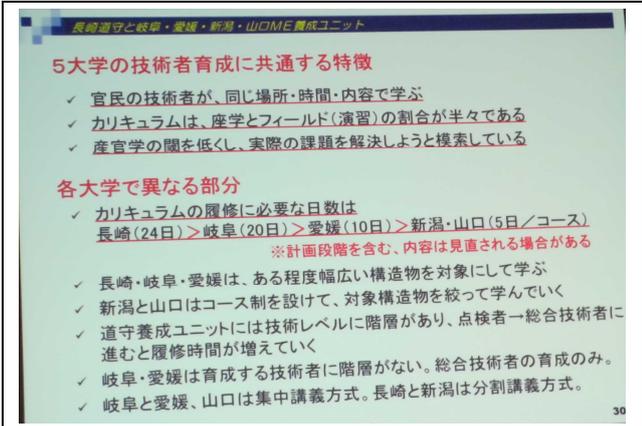
「養成講座に参加した感想や意見・要望」
グループのまとめ(8)



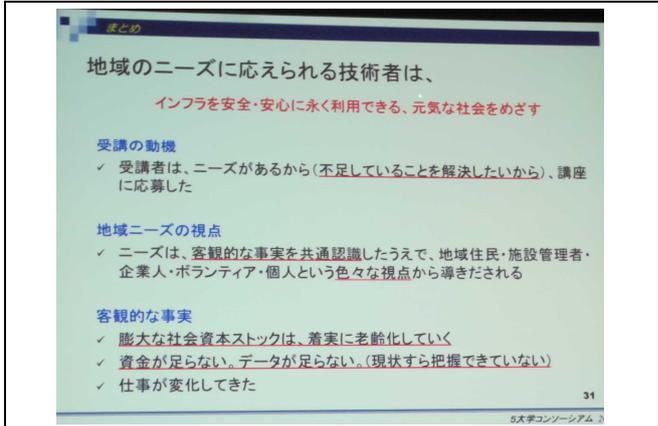
第3テーマ
「修了生として貢献したい場所、取り組みたい継続教育、目標とする技術者」
グループのまとめ(1)



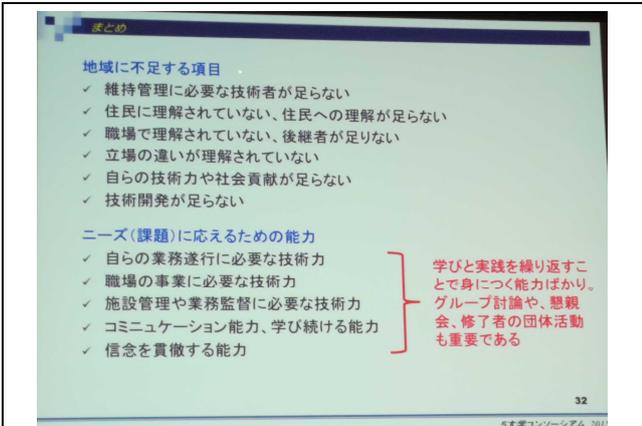
第3テーマ
「修了生として貢献したい場所、取り組みたい継続教育、目標とする技術者」
グループのまとめ(2)



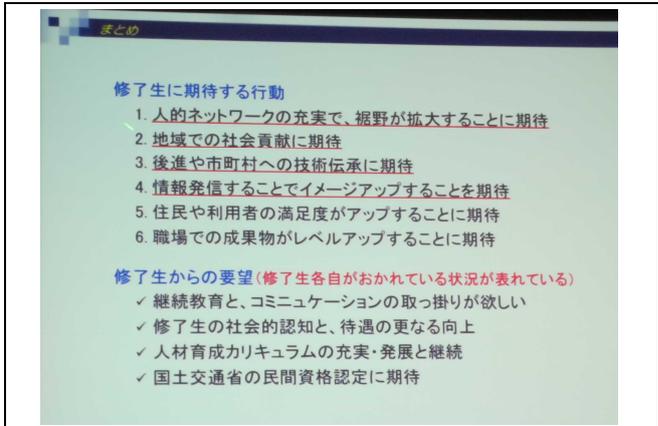
ME・道守 全体の取りまとめ
(岐阜大学事務局) (1)



ME・道守 全体の取りまとめ
(岐阜大学事務局) (2)



ME・道守 全体の取りまとめ
(岐阜大学事務局) (3)



ME・道守 全体の取りまとめ
(岐阜大学事務局) (4)